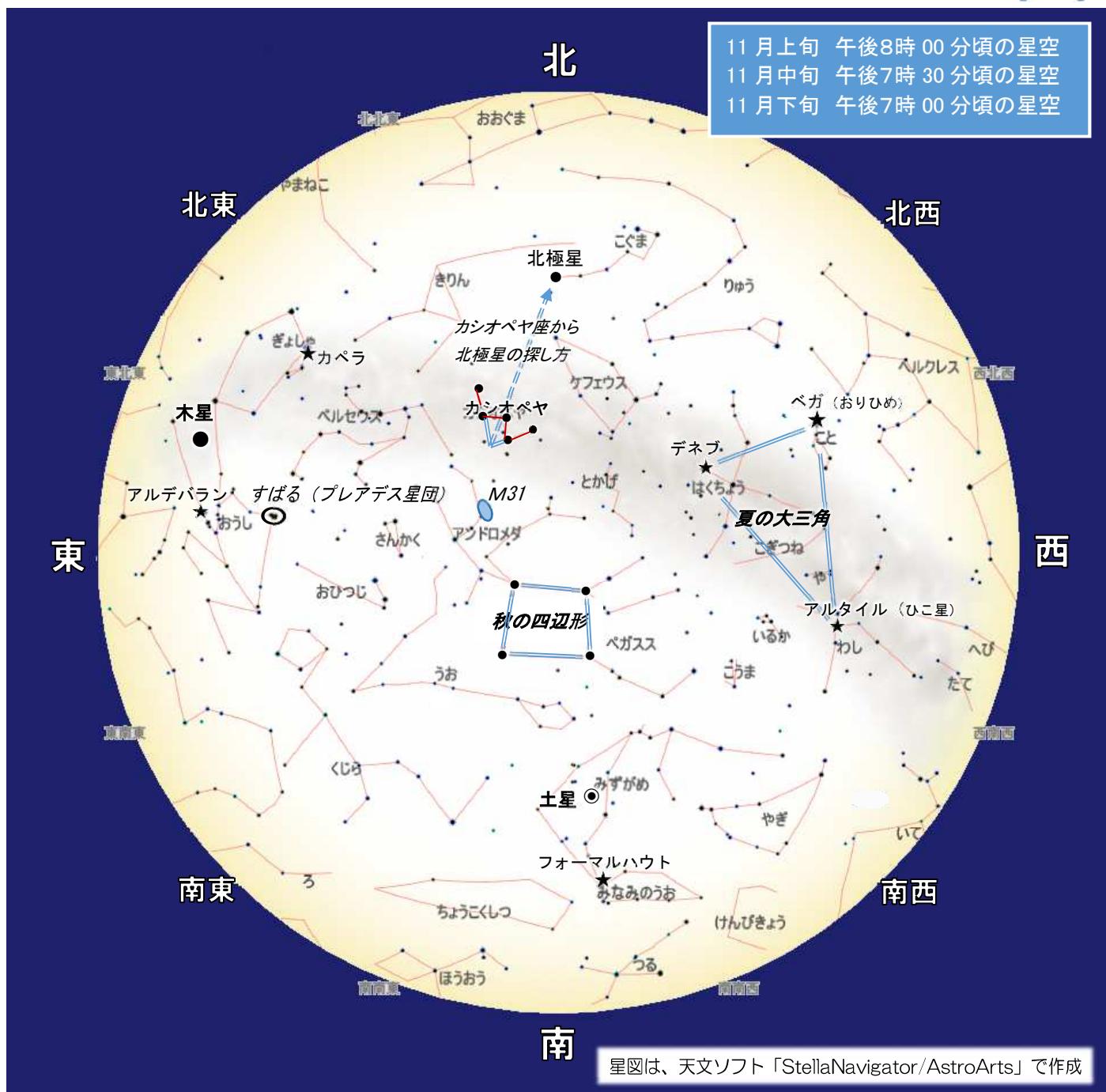


2024年 11月の星空案内



11月上旬 午後8時00分頃の星空
11月中旬 午後7時30分頃の星空
11月下旬 午後7時00分頃の星空



星図は、天文ソフト「StellaNavigator/AstroArts」で作成

【11月の星空と惑星】

秋の星座さがしの目印は『秋の四辺形』です。西側の辺を南に延ばすと、秋の星座で唯一の1等星「フォーマルハウト」、東側の辺を北に延ばすと、カシオペア座や北極星が見つかります。日の入りの時刻も早まり、日が暮れてしばらくは、まだ空高くに『夏の大三角』（ベガ・アルタイル・デネブ）が目立ちます。

空が暗いところでは「アンドロメダ銀河（M31）」を肉眼でも見ることができます。7～10倍程度の双眼鏡を使うと、楕円形にボーンと広がる雲のように見えるのが、アンドロメダ銀河です。

【太陽系の惑星】

宵の空では「土星」に続いて「木星」が観察の好機を迎えます。-2.8等の明るさで輝くので、とても目立ちます。17日には、「月」が「木星」の近くに見えます。また、ガリレオ衛星と呼ばれる「木星」の4つの衛星（イオ・エウロパ・ガニメデ・カリスト）は、双眼鏡でも見るすることができます。